

令和3年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラス我孫子

集計日:令和 3 年 12 月 15 日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		一度の時間帯に利用者4名までの入室となるため、適切なスペースを確保することができています	今後も利用者同士の事故等に留意しながら運営をしていきます。
②職員の配置数は適切であるか	○		利用者の人数に対し基準人員以上の配置をしております。また同法人内他事業所の職員がヘルプに入ることがあります	採用活動を行い、充実した職員配置を目指します。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		教室内では、児童の注意をそいでしまう刺激物は極力置かず、集中しやすい環境を整えています。一方で建物の2階部分からしかエレベーターがないため、ベビーカーなどを利用する方には運搬のお手伝いなどを行っています。	昨年度、階段に手すりをつける交渉を行ったが、設置は難しいとの回答を受けています。そのため、ベビーカーなどをご使用の際は前もってお声がけをいただき、運搬などをお手伝いを継続して行っています。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		教室内は必要なもの以外は置かず、構造化されています。また、毎日掃除や除菌などを行っています。	今後も皆様が使いやすい空間を確保します。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		半年に一度社内での目標設定に合わせて振り返りを実施しています。	施策を実施後の振り返りなどを含め、短いスパンでのPDCAサイクルを行います。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートの結果から改善点を職員で共有し、業務改善に努めています。	アンケート結果を分析の上、児童発達支援管理責任者を中心に業務改善に努めます。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ガイドラインに基づき事業所のホームページに公開しております。	ホームページの情報公開前に職員間で精査し、より分かりやすい内容をお届けします。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は実施することが出来ておりません。	法人内にて実施した事業所があるため、前向きに検討していきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内の勉強会を実施、社内で行っている勉強会に参加するなど、月1回以上で勉強会や研修会を行っています。	引き続き、利用者に還元できる研修や勉強会を実施、参加していきます。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		体験時や契約前、また支援計画更新時に保護者や利用者のニーズを聞き取ったうえで、児童発達支援管理責任者を中心に支援計画の作成をしています。	引き続き、利用者に合わせて支援計画を作成を行っていきます。

<p>⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>	○		<p>社内作成の発達スキルチェック表や太田ステージを参考に職員間で共有を図っています。 また、ご希望に応じてVineland IIを実施し、支援の方向性を共有しています。</p>	<p>アセスメントツールのみならず、普段から利用者の状況を職員で共有し、支援に活かしていきます。</p>
<p>⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか</p>	○		<p>利用者の発達段階に応じて、必要な発達支援や家族支援を設けることができている。</p>	<p>地域支援では、定期的に利用者が在籍している幼稚園に訪問する活動などを行っているが、支援計画に記載することが出来ていない。今後、必要に応じて、支援計画の備考欄に記載をしていきます。</p>
<p>⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p>	○		<p>支援計画を基に支援を行っております。また利用者の発達段階に応じて、更新を早めたりなどの工夫を行っています。</p>	<p>今後とも支援計画に基づいた支援を実施していきます。</p>
<p>⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか</p>	○		<p>立案については、それぞれの担当で一人行うことが多いが、どのような内容を行うのかを確認しており、その際に必要に応じて、指摘し合い、より良い活動プログラムを準備しています。 特に集団トレーニングの際は、メイン職員を中心にサブ職員とプログラムを構成しています。</p>	<p>今後ともチームでプログラムを立案し、より良い活動プログラムを実施していきます。</p>
<p>⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか</p>	○		<p>繰り返しが必要な部分に関しても、利用者が楽しく行えるように工夫して行っています。 支援日誌を基に、様々な活動に取り組めるよう、プログラムを構成しています。</p>	<p>イベントやトレーニングなど、他事業所で行っているものを参考に、より良いプログラムを準備します。</p>
<p>⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか</p>	○		<p>集団活動と個別活動が両方利用している利用者にはそれぞれの支援計画を作成しています。</p>	<p>今後適切な支援計画を作成していきます。</p>
<p>⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	○		<p>開始前に支援内容を確認し、サポートが必要な利用者や役割分担をしています。</p>	<p>利用者に応じて、必要な支援やサポートができるよう打ち合わせを行っています。</p>
<p>⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか</p>	○		<p>都度、どの部分が出来ようになっているか、どこに課題が見られるかを職員で共有しています。</p>	<p>今後支援の振り返りを共有し、より良い支援を提供していきます。</p>
<p>⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p>	○		<p>支援日誌のものが無いよう、職員が互いに注意することが出来ています。</p>	<p>引き続き、支援日誌を入力し、支援の質を高めていきます。</p>

⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援計画更新時に見直しの必要性を職員で検討し、必要に応じて更新、見直しを行っています。	今後も適切な支援計画を作成していきます。	
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		職員間で利用者の共有を深めているため、特段利用者の状況に秀でた職員はおらず、誰でも参画できるようにしています。その上で適任を選出し、参画しています。	今後も、適任を選出し、サービス担当者会議などの中でよりよい支援の方向性を提示できるようにしていきます。	
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	市役所の子ども相談課や相談支援事業所や幼稚園、保育園などとは連携をすることが出来ているが、母子保健や子育て支援等の関係者と連携することが出来ていない。	今後、我孫子市子ども部こども相談課のみならず、様々な課と連携して支援をしていきます。	
㉓移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		利用者の同意を得てから情報共有や支援内容の共有を目的として、幼稚園や保育園、こども園に訪問しています	今後とも利用者のご希望に応じて、幼稚園などへの訪問を行っていきます。	
㉔移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		事業所を退所する際に利用者それぞれの発達支援報告書を作成し、保護者や進学する学校にお渡ししています。	退所後も、利用者にとってよりよい環境を準備できるよう、今後も左記の活動を実施していきます。	
㉕他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	適宜、発達支援センターへの見学を行っているが、助言や研修などを受ける機会を設けることが出来ていない。	発達支援センターなどへの助言や研修の依頼を検討していきます。	
㉖保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	感染症対策も踏まえて、そのような機会を設けることが出来ていない。	利用者や保護者のニーズに応じて、実施を検討していきます。	
㉗協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	2019年度までは実施があったが、感染症対策のため、開催がなくなっており、参加することが出来ていない。	開催者である、市役所に確認をし、開催がある場合には積極的に参加していきます。	
㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		トレーニング後にフィードバックの時間をすることで、利用者の成長や課題を共有することが出来ています。	より共有が必要な保護者には面談の設定などを行っていきます。	
㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	○	「ペアレントトレーニング」としての位置づけのトレーニングを実施することが出来ていません。職員の研修後、実施を検討していきます。	
㉚運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明者から説明を行っています。また、請求時に不明な点がある場合は丁寧に説明を行っています。	今後も、契約時の丁寧な説明や不明な点がある場合に丁寧に説明を行っていきます。	
㉛児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		○	トレーニング後のフィードバックや面談時に説明し同意を得ています。	今後も、丁寧な説明や支援の方針のすり合わせをし、利用者にとっても保護者にとってもより良い支援を提供していきます。

⑳定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		トレーニング後のフィードバックにて、ご家庭でのお悩みをお聞きし、助言や家の中で取り組んでいただきたいことをお話しています。	ご希望に応じてVineland IIなどの検査結果から獲得した方が良い日常生活スキルなどの提案をしています。
㉑父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	トレーニング中に保護者同士でコミュニケーションをとる様子は見られていますが、保護者イベントとしての実施は行っていません。	今後、保護者同士がコミュニケーションをとれるイベントなどを検討しています。
㉒子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		必要に応じ面談などの対応を行っています。	今後も、利用者、保護者からの申し入れに迅速に対応していきます。
㉓定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月初にHAPPY通信を通して活動内容や事業所の情報を告知しています。	今後も皆様の目に入りやすい位置に掲示していきます
㉔個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報につきましては鍵付きキャビネットにて保管しています。	今後も個人情報の取り扱いには十分留意していきます
㉕障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		マカトンや指差しなど非言語のコミュニケーションなどを通してトレーニングを行っています。	今後も、利用者一人一人の発達段階に合わせてトレーニングをします。
㉖事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか		○	現在契約者以外の方との交流をする機会はありません。	ご希望に応じて近隣の幼稚園などと協力し、実施を検討いたします。
㉗緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	○	年に2回訓練の実施を行っています。一方で、マニュアルの周知は行うことができていません。	職員で協議し、保護者向けに緊急時の避難マップや避難の流れを記載した書類の作成をします。
㉘非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回の避難訓練を行っています。	今後も定期的に避難訓練の実施を行っていきます。
㉙事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に服薬やアレルギーなどの情報の確認をしています。	事前に情報を共有するとともに、発作時の対応なども確認していきます。
㉚食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、食べ物を取り扱うトレーニングを実施しておりません。	感染症対策などを十分に行ったうえで、調理イベントを実施する際は、アレルギーの確認などを行っていきます。
㉛ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心にヒヤリハットの事例をまとめています。	今後も皆様に安心して通所していただけるよう、留意していきます。
㉜虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回以上虐待防止研修を実施し、所感と対応方法の共有を行っています。	今後も定期的に研修などに参加し、虐待防止に積極的に取り組んでいきます。

<p>㊤どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>	<p>○</p>	<p>現在、対象となる利用者はいませんが、身体拘束を必要と判断する際は、慎重に判断し、保護者の同意を得るものとします。</p>	<p>今後も身体拘束を行うかどうかの判断は慎重に行い、保護者に丁寧に説明を行っていきます。</p>
---	----------	---	---